

向井潤吉 民家の旅

風土の
かたちを
求めて

2018. 9. 8 [土] » 2019. 3. 17 [日]



《田麦俣にて》[山形県東田川郡朝日村田麦俣]1963年
*〔 〕内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

開館時間 | 10:00~18:00(最終入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、年末年始(12月29日~1月3日) 9月17日(月・祝)、9月24日(月・振替休日)、10月8日(月・祝)、12月24日(月・振替休日)、2019年1月14日(月・祝)、2月11日(月・祝)は開館、9月18日(火)、9月25日(火)、10月9日(火)、12月25日(火)、2019年1月15日(火)、2月12日(火)は休館

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円) *障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください *〔 〕内は20名以上の団体料金 *小・中学生は土、日、祝・休日は無料

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

民家の画家
向井潤吉 人物交流記

会期:2018年9月8日(土)~11月4日(日)
会場:世田谷美術館(東京都世田谷区砧公園1-2)
内容および料金など詳細は美術館ホームページなどでご確認ください。

向井潤吉 民家の旅

風土のかたちを求めて

戦前、戦後をとおして活躍した洋画家・向井潤吉(1901-1995)は、1945年以降、日本各地を訪ね歩き、失われゆく草葺屋根の民家を描くことにその後半生を捧げました。

世界遺産となった白川郷の「合掌造り」や、雪深い地方の特徴的な屋根をもつ「兜造り」、母屋と馬屋がL字の形をかたちづくる「曲がり家」など、約40年間におよぶ旅の中で、向井は各地の特徴的な民家の数々を描きました。

向井潤吉の作品には、こうした民家の造形美が、周囲の自然と一体感をもって表現されています。また、そこで暮らす人々の息づかいをも感じ取ることができます。

「民家はその生まれた土地を動かずに、生活や自然環境と密着してこそ初めて美しい」(「よみがえる民家」『東京新聞』1973年3月28日)と語った向井は、民家のある風景をとおして風土の美を感じとり、描きあらわそうとしたといえるでしょう。

本展では、向井潤吉の民家シリーズを中心に、油彩、水彩作品をあわせて約40点をご紹介します。旅する画家が追い求めた、風土のかたちの数々をお楽しみください。



《水辺の曲り家》[岩手県稗貫郡大迫町内川目]1976年



《風と砂の村》[青森県北津軽郡市浦村十三]1964年



《大原秋色》[京都府京都市左京区大原]1977年



《白川郷》[岐阜県大野郡白川村荻町]1963年

イベント情報

担当学芸員による ギャラリートーク

2018年
12月15日(土) 11時～

2019年
2月9日(土) 11時～

*いずれも20分程度、参加費無料
(観覧料別途)、事前申込不要

2018年秋、世田谷美術館で16年ぶりの向井潤吉展が開催されます!

民家の画家 向井潤吉 人物交流記

本展では、向井潤吉の画業を主軸としつつ、彼が感慨をこめて綴ったさまざまなエッセイを手がかりとして構成します。文中に登場する向井が交流をもったさまざまな人々の作品や諸資料をご紹介します。向井潤吉の画家としての足跡を辿ります。また、民家シリーズの代表作も多数出品されます。向井潤吉アトリエ館とあわせて、ぜひご覧ください。

会期: 2018年9月8日(土)～11月4日(日)

会場: 世田谷美術館 1階展示室

内容および料金など詳細は美術館ホームページなどでご確認ください。

《遅れる春の丘より》[長野県北安曇郡白馬村北城] 1986年



世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL: 03-5450-9581
http://www.mukaijunkichi-annex.jp/



© 宮本和義

【交通案内】

東急田園都市線「駒沢大学」駅西口徒歩10分／東急世田谷線「松陰神社前」駅徒歩17分／東急バス(渋05) 渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分／東急バス(等11) 祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分／東急バス(等13) 梅ヶ丘駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分／東急バス(渋11) 渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分／東急バス(渋12) 渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分

世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL: 03-3416-1202
http://www.kiyokawataiji-annex.jp/



© 宮本和義

◆ 清川泰次 昭和の学生旅行
2018年9月8日(土)～2019年3月17日(日)

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL: 03-5483-3836
http://www.miyamotosaburo-annex.jp/



© 宮本和義

◆ 宮本三郎 装飾性の展開
2018年9月8日(土)～2019年3月17日(日)



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL: 03-3415-6011 (代表)
[展覧会のご案内] TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
https://www.setagayamuseum.or.jp/

* 詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催

企画展

民家の画家 向井潤吉 人物交流記 | 2018年9月8日(土)～11月4日(日)
ブルーノ・ムナリー ― 役に立たない機械をつくった男 | 2018年11月17日(土)～2019年1月27日(日)
田沼武能写真展 東京わが残像 1948-1964 | 2019年2月9日(土)～4月14日(日)

ミュージアム コレクションⅡ 東京スケイプ Into the City | 2018年7月21日(土)～10月21日(日)

ミュージアム コレクションⅢ アフリカ現代美術コレクションのすべて | 2018年11月3日(土)～2019年4月7日(日)